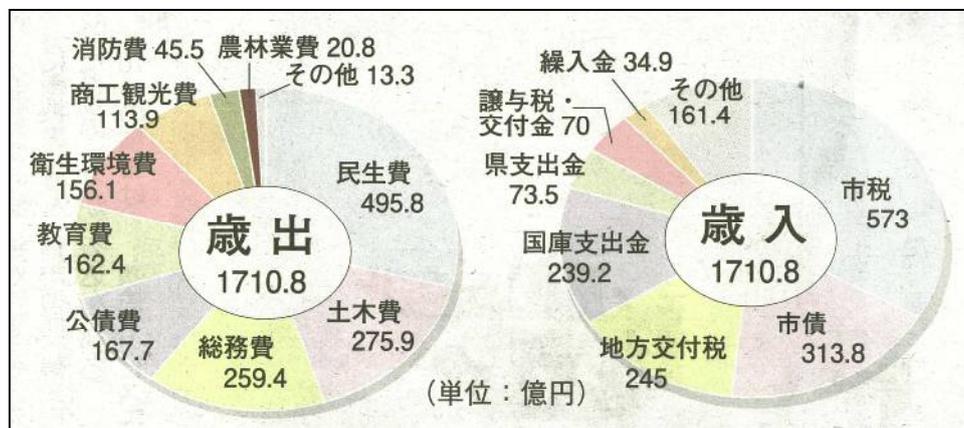


住み続けたい安茂里を原点に

2014年3月9日
市議会議員 布目裕喜雄

1. 10 大施設建設プロジェクトで過去最大の予算規模＝1710.8 億円(154.8 億円増)

「長野のまちに、優しさと思いやりを吹き込み、子ども達の明るい未来へつなぐ予算」



(1) 「守る」、「育てる」、「つなぐ」を实践する予算＝273 億円

「守る」＝市民の安全と生活を守る予算	130.4 億円
「育てる」＝人と地域を育てる予算	73.5 億円
「つなぐ」＝信頼の心をつなぎ、新しい時代へつなげる予算	69.1 億円

(2) 3つの優先施策＝280 億円(対前年度比 105.4 億円増)

新幹線延伸に対応した魅力あふれるまちづくり	84.3 億円
産業が生き生きと育つ元気なまちづくり	4.0 億円
次世代を育む明るいまちづくり	191.7 億円

(3) 10 大プロジェクト事業…H26 年度に 5 施設が完成＝316 億円

	事業名	H26 予算	H25 予算	増減	総事業費
①	新市役所第一庁舎の建設	46.4 億	4.9 億	41.5 億	72 億
②	新市民会館の建設	63.4 億	14.7 億	48.7 億	82 億
③	斎場の新設	41.2 億	15.2 億	26.0 億	66 億
④	ごみ処理施設広域負担金	5.1 億	5.7 億	-0.5 億	68 億
⑤	ごみ焼却施設周辺整備事業	6.0 億	6.0 億	0.0 億	90 億
⑥	長野駅善光寺口駅前広場の整備	26.9 億	18.4 億	8.5 億	53 億
⑦	駅周辺第二土地区画整理事業	25.5 億	30.0 億	-4.5 億	803 億
⑧	小中学校の耐震化	48.0 億	41.1 億	6.9 億	448 億
⑨	南長野運動公園総合球技場整備	51.5 億	0.0 億	51.5 億	80 億
⑩	第四学校給食センターの建設	6.6 億	0.2 億	6.4 億	43 億
	事業費の合計	316.0 億	131.1 億	184.9 億	1,805 億

*これから 10 年、H26～H35 年度までの事業費は 686 億円

内、国・県支出金は 108 億、借金が 324 億、一般財源は 233 億

(4) 市の借金と貯金…まちづくりへの投資と健全財政の堅持

①一般会計の市債残高＝1,573 億円＋企業会計の市債残高＝1,542 億円

⇒市全体で約 3,115 億円の借金

⇒市民一人当たり、約 82 万の借金

②基金残高(財政調整分)

H25 末 185 億円⇒H27 年 156 億円⇒H35 年 234 億円

2. 「住みよい長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策」

市民から見た「行政施策の優先度」ベスト10(H25年度まちづくりアンケートから)

①	安定した雇用の確保	5年連続1位
②	バスや鉄道などの移動手段の確保	4年連続2位
③	商店街などの商業の活性化	7位⇒3位
④	介護予防の充実、介護サービスの充実	5位⇒4位
⑤	子育て支援の充実	4位⇒5位
⑥	利用しやすい行政サービスの提供	⇔
⑦	医療体制の整備・充実	3位⇒7位
⑧	幹線道路や生活道路の整備	⇔
⑨	中心市街地の再生	⇔
⑩	学校教育の充実	⇔

* 防災対策の推進 13位⇒11位



アンケート結果を行政施策の優先度を図る重要な物差しに
市民が幸せを実感できる施策、市民に満足してもらえる施策を重点に

3. 市政運営上の最大の課題＝公共施設、「量」と「質」の見直し

(1) 公共施設白書の概要…市政直行便 3P・別紙「白書概要・かわら版」参照

(2) H25年度まちづくりアンケートより

- ① 利用状況＝「利用していないを含む無回答」がトップ、40%～90%
- ② 利用しない理由＝「利用の必要がない」がトップ、「近くに必要とする施設がない」「駐車場が少ない、交通機関がなく行きにくい」「サービスや利用方法がわからない」
- ③ 施設の縮小＝約7割が「必要性を見直し、人口や税収入に見合った規模に減らすべき」
- ④ 公共施設の総量＝「維持管理費用が掛かる」がトップ
- ⑤ 利用者負担の見直し＝「利用者負担・税金の投入が必要なら廃止」が31%でトップ



必要度・満足度を吟味し、市民とともにつくる「公共施設再配置計画」へ

4. 3月市議会での一般質問より

- ① 市民アンケート結果に基づき、福祉や教育、雇用を重点にした市政運営を
- ② 市民生活に重圧感が押し寄せる中、利用者負担の引き上げは、市民活力が減退しないよう慎重に
- ③ 健康長寿都市に向け、施策を体系化して展開を
- ④ 子育て支援先進都市に向け、ワンストップの「子ども相談室」へ
- ⑤ 戸籍など個人情報不正取得に対し、本人通知制度の導入を
- ⑥ 消費生活相談の充実、消費生活行政を全庁横断の取り組みへ

5. 安茂里の課題…住民の皆さんの声をしっかりと聞き、実現に力を尽くす

市民が主役。未来へ。ずっと笑顔、安心して暮らすために。
地元・安茂里を原点に、
長野市の将来を見つめ、市民の幸せを願って全力投球します。